

1. 件名：福島第一原子力発電所における地すべりの可能性の検討に係る面談

2. 日時：令和5年12月8日（金）15:30～16:15

3. 場所：原子力規制庁15階審議官室

4. 出席者

原子力規制庁

長官官房

佐藤核物質・放射線総括審議官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

正岡企画調査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

飯塚廃炉技術担当、他5名（うち3名テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、本年6月19日に開催した第11回特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）の議論及び11月9日の面談結果を踏まえ、周辺斜面による耐震重要施設等への波及的影響に関する対応方針について説明があった。

○原子力規制庁から、説明内容の事実確認をするとともに、当該対応方針の妥当性については、今後の技術会合において、1Fのリスク低減活動全体への影響も考慮しつつ議論する旨を伝えた。

○東京電力より、了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 福島第一原子力発電所における地すべりの可能性について コメント回答 耐震重要施設の周辺斜面の対応について

以上